



平成25年5月16日

各位

会社名 Oak キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康
(コード番号 3113 東証第二部)
問合せ先 広報・IR 室長 桐村 康司
(TEL. 03-5412-7700)

2013年度の投資事業に関する“戦略転換”のお知らせ

当社は、株式市場の上昇や円安による企業の業績向上にともない、インベストメントバンキング事業における投資戦略の転換と投資資金枠の拡大を図ってまいりますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. インベストメントバンキング事業の投資戦略

当社は、株式市場が低迷を続ける環境下で、新株予約権の引受けを中心とした投資手法を手掛けてまいりましたが、株式市場が上昇基調に転じたことから、投資戦略の拡大、株式運用の開始、投資対象の拡大といった経営環境および投資環境に対応した投資戦略を積極的に展開してまいります。

当期の投資戦略の転換のポイントは以下の通りです。

◇ 投資戦略の拡大 — 投資手法の転換

新株予約権の引受けを中心とした投資手法から、第三者割当増資による新株の引受けを行うエクイティ投資の割合を増やし、投資案件数の拡大を図ります。

◇ 株式運用の開始 — 市場売買による資金の運用開始

手持ち投資資金の増加に伴い、上場株式の市場での売買による運用益獲得に取り組みます。

◇ 投資対象の拡大 — 投資先対象企業の時価総額を200億円規模に引き上げ

事業資金調達へのニーズが高まることを背景に、新規投資の対象会社を従来の時価総額50億円以下から、200億円まで増額することで、投資対象を拡大することで、投資件数を増やしてまいります。

2. 事業会社の資金ニーズの増加に伴う対応

経済環境が好転するなか、新興市場に上場する企業や中堅上場企業からの資金調達に関する相談や海外投資家からの投資の提案を受ける機会が増えてきたことから、投資機会の好機と捉え、このたび、投資戦略を転換することといたしました。

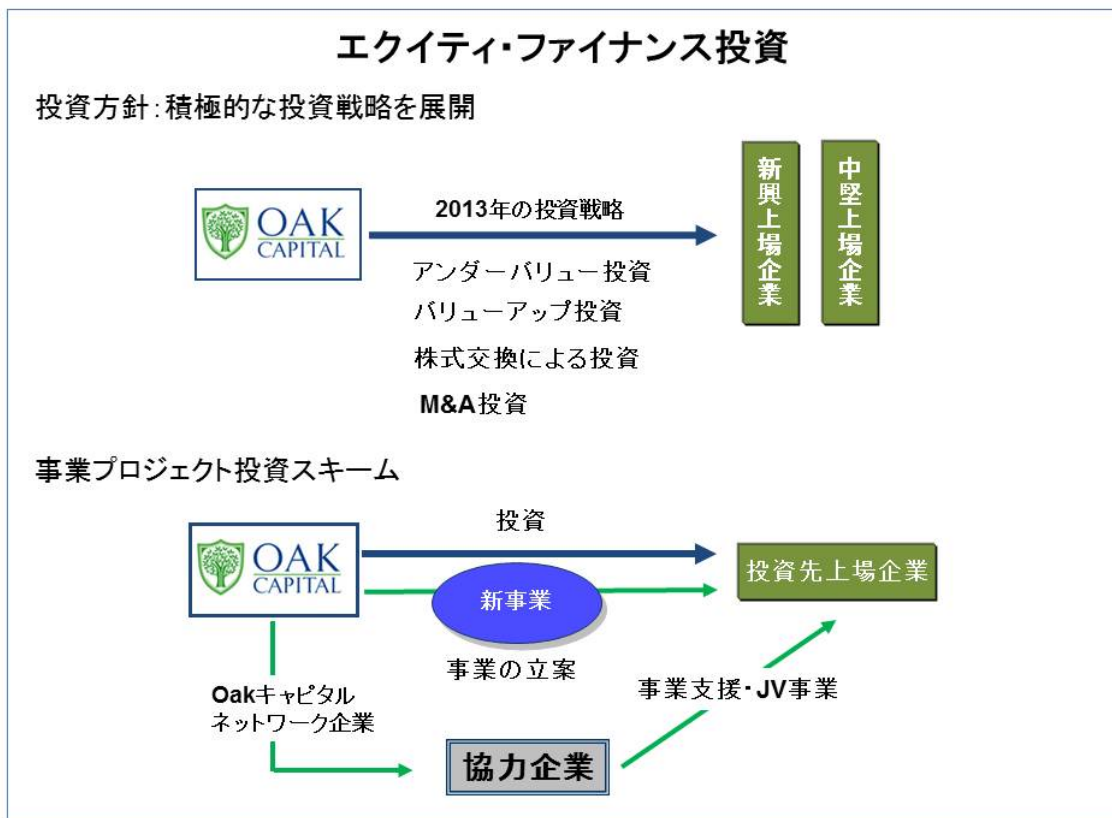
3. 当社の投資運用額の増大による転換

株式市場が上昇基調に転じたことから、既存投資先の投資回収時期が早まり、投資資金の増大が見込まれることから投資手法を多様化するとともに投資対象を拡大する方針と致しました。

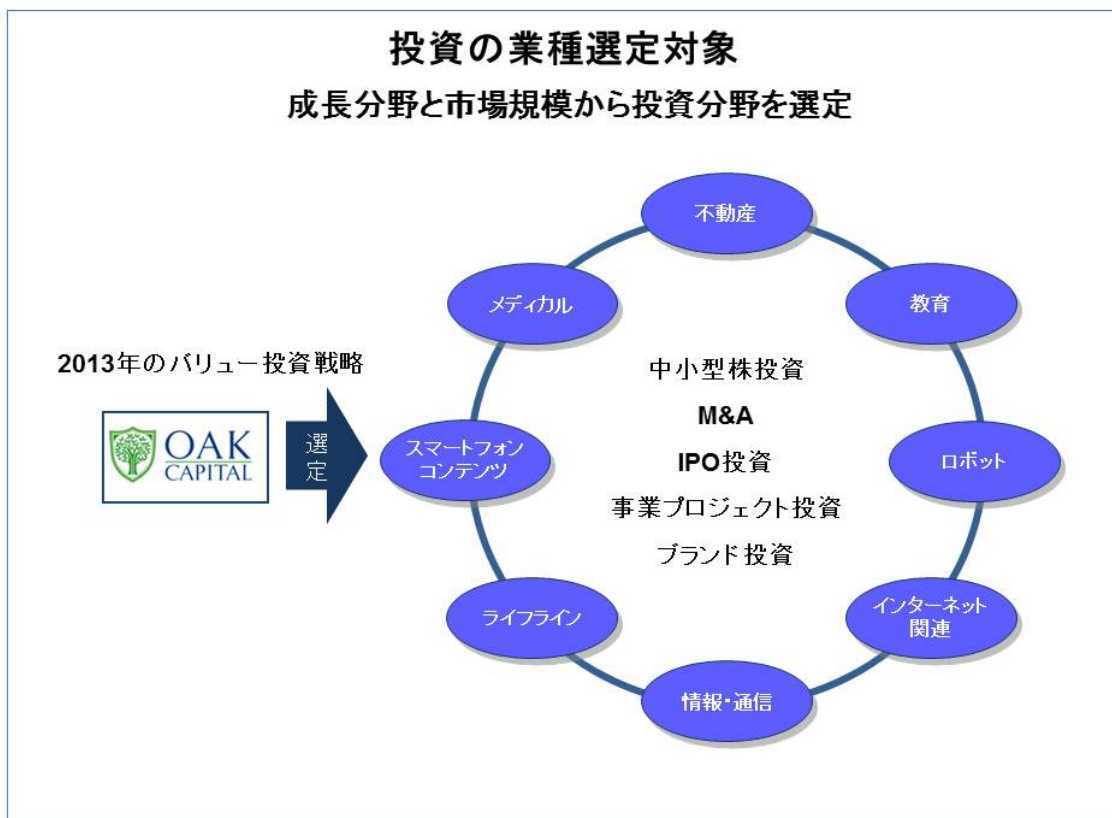
4. 当期の業績に対応する投資戦略

このたびの投資戦略転換で、2013年度(2014年3月期)の投資額は前期の8倍～10倍、投資収益(キャピタルゲイン)は前期の約4倍～5倍を目標にしております。

1. 投資戦略の拡大



2. 投資対象の拡大



以 上